

令和4年度大府市交通安全対策会議 議事録

日 時：令和4年5月24日（火）
10時25分～11時15分
場 所：大府市役所 全員協議会室

【 出席者 】（ ）内は代理者

会 長：岡村秀人：大府市長

委 員：長谷川温：国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所名古屋国道維持第三出張所長、神谷孝明（市田）：愛知県知多建設事務所長、林下京子：愛知県道路コンセッション株式会社、久保田英男：東海警察署交通課長、竹内勝哉：東海大府交通安全協会大府分会長、久野晃：大府市老人クラブ連合会長、深谷さと子：大府市身体障がい者福祉協会代表、野村めぐみ：大府市小中学校PTA連絡協議会代表、浅沼順子：大府市地域婦人団体連絡協議会代表、石黒公子：一般市民代表

幹 事：田中雅史：文化交流課長、小島紳也：高齢障がい支援課長、山本貴之：幼児教育保育課長、間瀬恵：子ども未来課長、山縣豊：道路整備課長、深谷一紀：水緑公園課長、大山容加：学校教育課長、浅田和貴：消防総務課長

事務局：信田光隆：市民協働部長、近藤真一：危機管理課長、近藤宏幸：危機管理課生活安全係長、吉村隆汰：危機管理課生活安全係主任、津坂拓男：危機管理課生活安全係地域安全専門員

欠席者：なし

議事

- 司会 近藤危機管理課長
- 議長 岡村大府市長（会長）

1 会長あいさつ

【 会長 】

令和4年度から新たな委員を選任しますので、2年間よろしくお願ひします。

本対策会議は、本市に関わる交通安全対策として、道路環境整備や交通安全思想の普及など様々な施策について、御審議をいただく会議です。

本市の交通事故状況については、高齢者が関係する事故が多く発生していることや、自転車に乗る人への交通ルールの周知及び徹底が大きな課題となって

います。高齢者や子どもへの事故対策として、高齢者と小学生から高校生までの児童生徒を対象とした自転車乗車用ヘルメットの購入費の一部を補助する制度とともに、自転車に関わる事故により、多額な賠償責任を負う事例が発生していることから、損害賠償責任保険等への加入も義務化しています。

また、本市では、交通事故死ゼロが3年以上続き、2年連続で愛知県警察本部長感謝状をいただいております。今後とも交通事故死ゼロという状況を可能な限り続けていきたいと思っております。皆さま方のそれぞれの立場において御協力をお願いします。

本日の会議では、昨年度の本対策会議において策定した第11次大府市交通安全計画に基づき、今年度の交通安全実施計画を作成しており、実施計画の内容について、御審議をいただきたいと思っております。委員の皆さまのそれぞれの立場においては、忌憚のない御意見をいただき、有意義な会議としたいです。

2 協議事項

令和4年度大府市交通安全実施計画（案）について
事務局及び関係幹事による資料説明

【 委員 】

高齢者に関わる死亡事故が問題視されている中で、高齢者の交通安全対策について、予算にあげて具体的に取り組む内容が少なく感じている。補助制度等はあるが、安全運転支援装置の取付や高額の商品ではなく、安価な対策で良いため、高齢者でもわかりやすく簡単なものとしていただきたい。

先日、夕方に無灯火の車があり、近くに来るまで車に気が付かなかったことがあった。車が高齢者に気が付く対策として反射材を身に付けるということもあるが、高齢者が車に気が付く対策として、ライトの自動点灯装置等に補助する制度があっても良いと思った。

高齢者は免許返納して欲しいと言われており、免許を返納したら移動手段がなくなってしまうが、バスはまだまだ便利とは言えない状況のため、タクシー等を使わざるを得ない状況にある。老人クラブでイベントがある際にタクシーを利用するようにしているが、他の利用者が多い時には必要数が確保できないこともある。市老連としてもそれぞれの地域の会員に対して、タクシー利用料の一部を経費として認めることとした。このように免許返納を促すだけでなく、具体的な施策を考えていただきたいと思う。

【 事務局 】

交通安全対策は、高齢者も含めた交通弱者と呼ばれる要配慮者に対して全般

的に対応しなければならないと考えている。

本日いただいた意見を幹事一同で共有し、検討していきたい。

【 委員 】

文化交流課の取組について、外国人向けと記載されていたが、恐らく英語圏、中国語圏、ポルトガル語圏等を対象にしていると思うが、ウクライナから避難されてきた方が交通事故に遭われてはいけないため、ウクライナ人への配慮もしていただきたい。

【 幹事 】

本市の現状は、ベトナム人やインドネシア人が特に多い状況となっている。ウクライナ人への対応については、日本語教室に来ていただいており、既にそのような機会を利用して交通安全についてお伝えしているが、改めて交通安全の大切さについて伝えていきたい。

【 委員 】

愛知県道路コンセッションでは、知多半島道路を管理しているが、外国人の方が、50ccのバイクで高速道路に入ってしまうことが問題となっている。50ccのバイクは通行ができないため、そのような案内もしていただきたい。

【 幹事 】

そのような事案があることは知らなかった。そのような周知も今後行っていきたいと思う。注意喚起の案内文などがあれば翻訳することができるので、注意喚起の案内文等を御提供いただけるとありがたい。

【 委員 】

ベトナム人やインドネシア人が誤って高速道路に入ってしまうケースがある。注意喚起のチラシがあるため、提供する。御協力をお願いします。

3 報告事項

1 大府市の交通事故状況について

【 委員 】

まず、愛知県の交通事故情勢について、昨年117名が交通事故によって亡くなり、前年対比37名の減少で、3年連続ワースト1を返上したが、117名の尊い命が失われたということを忘れないでいただきたい。

昨日時点の愛知県内での交通事故死者数は55名で、前年対比18名の増加で、ワースト1位となっており、2位大阪とは5名差である。先ほど会長からお話があったとおり、65歳以上の高齢者が29名で、構成率52.7%となっており、亡くなった方の半数以上が高齢者となっている。また、29名のうち、17名が歩行者、自転車利用者が5名となっている。

大府市の交通事故状況について、第11次大府市交通安全計画の2ページに交通事故発生状況の推移が記載されているが、交通事故死者数は3年連続0人となっている。人身事故件数も減少しており、負傷者数も減少している中で、65歳以上の高齢者が怪我をする事故は、右肩上がりで毎年上昇している現状にある。

このような状況を見ていくと、高齢者を保護するためにどのような対策をしていくのか、重要な課題となっていると感じる。

「交通は3つの良い」というが、「交通環境」、「交通教育」、「交通取締り」の3つをバランスよく行っていくことで、良い効果が出てくる。

東海警察署としても、高齢者に免許返納だけを推奨するわけではないが、様々なところで自らが高齢になってきていることを自覚していただきたい。視力は体力と同じように徐々に衰えていくため、なかなか衰えていくことを実感しづらいたと思う。5月13日から道路交通法が一部改正され、高齢者にとって厳しくなったと思うが、自らが加害者や被害者とならないため、御理解いただきたい。

続いて、6月の交通事故の傾向については、1月と並んで飲酒運転事故が多い月となっている。6月はボーナス月でもあるため、そのような関係性もあるかもしれない。また、梅雨の時期となり、雨の日が多くなるため、晴れの日を狙って多くの人が出し、通行量が増える傾向にある。外出される際はその点に注意していただきたい。

先ほど会長から話があったように、ドライバーは安全運転の意識を、歩行者もドライバーが自らに気が付いていないかもしれないという意識を持っていただくことが大切で、交通安全教室でも伝えている。

コロナ禍から徐々に元の生活に戻りつつある中で、交通の流れや物流も戻りつつあるため、交通事故を1件でも減らすため、皆さまの御協力をお願いします。

2 愛知県警察本部長感謝状について 事務局による資料説明。

【 委員 】

先ほどハンドアップの話がでていたが、小学生が横断歩道の手前で渡るのか渡らないのか、交差点の中ではっきりしないことが多く、高齢者は困っている。

高齢者は視力の低下により認識も遅くなり、見落としてしまう高齢者もあり、高齢者に分かりやすくするため、交差点には子どもが横断するための横断旗を設置して欲しい。

【 事務局 】

児童への交通安全対策は、交通安全教室を通して、確実に横断意思が伝わるようにハンドアップする啓発に御理解いただきたい。

(閉会)